

Twitterを用いた地球科学における効果的な情報発信方法の検討 Consideration of Effective Transmission of Information Using Twitter in Geoscience

片山 智弘^{1*}, 鹿園 直建¹
KATAYAMA, Tomohiro^{1*}, SHIKAZONO, Naotatsu¹

¹ 慶應義塾大学大学院

¹ Graduate School, Keio University

Twitterは非常に有効な情報収集・情報発信ツールの1つになっており、学術的な研究内容の有効な広報手段の1つにも使うことが出来る。それは近年の地球環境問題や自然災害によって、比較的一般の方の関心の高い分野にもなっている地球科学においても例外ではない。そして、より多くの人に有益な情報発信を行うためにはツイートがうまくバイラルしたり、お気に入り多数登録されるなどし、フォロワーとコミュニケーションが取れるようなアカウントを運営することが重要であるがその知見は充分ではない。

そこで、地球科学に関するニュース、雑学、イベント情報などの情報提供を行うbotを作成し、アカウントを試験的に運営する。

そのフォロワー属性を地球科学になんらかの関心がある人やそういった研究機関に所属している人などに絞った場合と絞らない場合、またはツイートの内容で、ニュースなのか、雑学（高校生まででわかる簡易な雑学と専門的な雑学に分ける）なのか、イベント情報（学会やシンポジウム、体験系など）なのかで、公式・非公式リツイートの数やリプライ数および内容、お気に入り追加数、引用リツイート数の数を数えて、有意な差が出るかどうかを検証する。

そして、よくバイラルした情報がどのようなもので、フォロワー属性を絞ることが有効なのかどうかに関して議論する。Twitterにて地球科学関連の情報の拡散を体系的に調べ、地球科学分野の情報発信のためのTwitterの有効な運営について考察する。

キーワード: Twitter, ソーシャルメディア, 地球科学

Keywords: Twitter, Social Media, Geoscience